

補修部品について

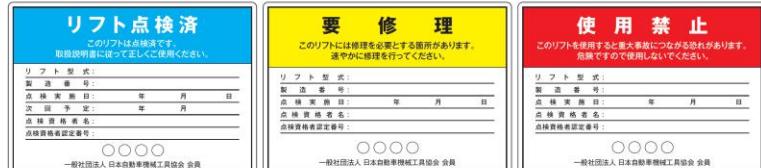
■リフトの機能を維持し、安全に使用して頂くためには補修部品の定期的な交換が必要です。

補修部品等	交換の目安
車体受ゴム	2年に1回
ワイヤー類（洗車使用）	2年に1回（1年に1回）
チェーン類（洗車使用）	4年に1回（2年に1回）
油圧用油脂類	1年に1回
油圧用パッキン類	4年に1回
ホース類	5年に1回
リール・ケーブル類	5年に1回
電気部品・スイッチ類	5年に1回



リフト点検資格者制度について

- リフトの点検や正しい使い方は、専門知識を持つ日本自動車機械工具協会認定のリフト点検資格者にご相談ください。
- リフト点検資格者が点検を実施したリフトには、点検結果により次の3種類のステッカーが貼付されます。



荷重バランスが悪い状況でのリフトアップによる車両落下検証実験写真

JASEA 一般社団法人 日本自動車機械工具協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7-23-5
TEL.03-3203-5131 FAX.03-3208-2157
<http://www.jasea.org/>

◎ リフトの保守点検/定期点検はリフト点検資格者のいる下記会員会員社までお問い合わせください。

会社名	会社名	会社名
株式会社アムテックス	株式会社イヤサカ	日平機器株式会社
株式会社アルティア	興和精機株式会社	株式会社バンザイ
安全自動車株式会社	株式会社サンコー	株式会社ユニー・コーポレーション

リフトは正しく使い、保守点検を定期的に実施しましょう

取扱方法は適切ですか？間違った使用方法は重大な事故につながります。

昇降操作中は車両の下に立ち入り禁止



人が車の下にいる場合は、昇降操作はしないでください。
車が落下する可能性があり危険です。

純正アタッチメント以外は使用禁止



昇降中又は作業中に車が落下し
重大事故につながります。

リンク部やリフトの下に手や足を入れない



挟まれて重傷を負う可能性があります。

左右高さのアンバランス時は使用禁止



左右高さのアンバランス時は、
車が落下し重大事故につながります。

荷重バランスの崩れに注意



重い部品の脱着により荷重バランスが崩れ、
車が落下する可能性があります。

洗車対応機以外は洗車不可



水等の影響により、リフトが故障や破損する可能性があります。

リフトの専門家による定期点検は1年に1回必要です

ワイヤー・チェーンの切断、安全装置の不備、オイル漏れによる事故が発生しています。これらの事故を防止するには、ユーザーによる点検（実施方法は取扱説明書を参照）を実施し、かつ、専門家による定期点検を受けることが効果的です。

作業前の日常点検、専門家による定期点検を実施しましょう

アームの作動



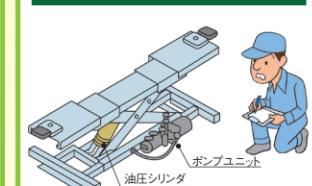
アームロック／振れ止め装置は
正常に作動しますか？

安全装置の作動



安全装置は正常に機能していますか？

オイル漏れ



オイル漏れはありませんか？

ワイヤー・チェーンの摩耗



ワイヤー・チェーンに
磨耗・損傷は
ありませんか？

コードリール・リモコンスイッチの状態



コードリール、
リモコンスイッチに
損傷はありませんか？

受台の状態



摩耗や損傷は
ありませんか？

定期的にcheck!

定期的な注油、部品交換で、
安全に使用しましょう

Check Point!! 「定期点検」を実施していますか？



□前回はいつ点検しましたか？



□給油はいつしましたか？



□ワイヤー、チェーンは
定期的に交換していますか？

交換時期の目安

・ワイヤーの交換は2年ごと
(洗車対応型リフトでは1年ごと)
・チェーンの交換は4年ごと
(洗車対応型リフトでは2年ごと)



□有資格者による点検を
受けましょう



リフトの種類によっては該当しない項目があります。

リフトをご使用になる前に、必ずそのリフトの取扱説明書を熟読し、十分に理解した上で、正しく使用してください。